

所得額（見込み）申告書

【減免事由（2）所得減少減免の方は必ず提出してください】

所得額（見込み）申告書

以降のページに18歳以上の国保加入者全員の所得を1人ずつご記入ください。
※ 国保加入者のみ。擬主は不要です。

記入例

記号番号 富国

令和 年 月 日

申請者（世帯主）

電話番号（ ）

「申請日」「証番号」「氏名」「電話番号」を記入してください。

「被保険者氏名」をご記入下さい。

同じ世帯に18歳以上（令和7年1月1日時点）の方全員分の「所得額（見込み）申告書」を記入してください。18歳以下でも前年所得があれば、記入必要です。

被保険者氏名

所得見込額が前年中の所得金額と変わりありません

被保険者氏名

所得が減少した理由

所得が減少した理由をご記入ください。
例：会社を辞めて、事業を始めた。

減少した理由

Table with 4 columns: ①事業所得, 直近3カ月に得た所得を記入, ( )月, ( )月, ( )月. Rows: 収入, 経費, 所得(収入-経費).

Table with 2 columns: 所得【ア】, 所得【ア】の合計÷3カ月(1+2). Row: 所得【ウ】.

Table with 4 columns: ①事業所得, 直近3カ月に得た所得を記入, ( )月, ( )月, ( )月.

←各月の収入台帳と経費台帳を証拠書類としてつけてください。

昨年と比べて減少した所得と現在収入のある所得の両方をご記入ください。

- 例：給与収入のみであるが仕事を辞めて、給与収入がなくなった場合、給与収入をご記入ください。
例：事業所得と給与収入がある場合、事業所得と給与収入を記入してください。
例：仕事を辞めて年金収入のみになった場合、年金収入と給与収入をご記入ください。

【① 事業所得】を記入

⇒ 各月の収入台帳と経費台帳などの証拠書類も必要です。（直近3カ月を記入）

【② 1年間の年金収入】を記入

⇒ 前年と同様の場合は、「年金の所得見込み額が前年中の所得金額と 変わりありません」にチェックしてください。前年と異なる場合は、年金の種類・年金の年間の受け取り回数、1回あたりの受け取り回数（税金等引かれる前）を記入し、年金額改定通知書や年金振込通知書等の年金額のわかる証拠書類をつけてください。

【③ 給与収入】を記入

⇒ 原則、6カ月分をご記入ください。また、申請月の3カ月前・申請月の2カ月前・申請月の前月に給与収入がある場合は、給与明細書等の証拠書類を添付してください。また、退職した日のわかる証拠書類を添付してください。

【④ 不動産所得・その他の所得】を記入

⇒ 前年と同様の場合は、「不動産所得・その他の所得見込み額が前年中の所得金額と変わりありません」にチェックしてください。前年と異なる場合は、原則 申請月から直近4カ月の収入を記入してください。また、記入した額のわかる証拠書類をつけてください。
例：7月に雑所得がなくなった場合、4月・5月・6月・7月をご記入ください。

その他収入とは、上記以外の所得のことです。ただし、非経常収入は対象外です。

※非経常収入とは、譲渡所得・山林所得・一時所得・先物取引雑所得・申告分離課税を申告とした配当所得
例：7月に雑所得がなくなった場合、4月・5月・6月・7月をご記入ください。

Table for ② 1年間の年金収入. Includes columns for 年金種類, 公的年金・企業年金・個人年金, 年間受取回数, 1回あたりの受取額, 年間年金収入【ウ】×【エ】.

Table for ③ 給与収入. Includes columns for 退職日・転職日, 年月日, 最終給与支払日, 申請月の3カ月前, 申請月の2カ月前, 申請月の前月, 申請月×2, 翌月(見込み), 月分支給分.

Table for ④ 不動産所得・その他の所得. Includes columns for 所得種類, 収入, 経費, ① 月分, ② 月分, ③ 月分, 合計額(①+②+③).

↑非経常収入とは、譲渡所得・山林所得・一時所得・先物取引雑所得・申告分離課税を申告とした配当所得
※3 申請月から直近4カ月の収入を記入。申請月に降に減少する場合は見込み額を記入。なお、減免事由該当月と申請月が同月の場合は翌月以降は見込みを記入。